



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月9日

上場会社名 株式会社プレナス 上場取引所 東  
 コード番号 9945 URL http://www.plenus.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)塩井 辰男  
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理室長 (氏名)廣藤 明 (TEL)092(452)3678  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月9日 配当支払開始予定日 平成26年10月31日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日~平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	77,131	2.1	3,380	△11.8	3,647	△13.1	2,074	△16.4
26年2月期第2四半期	75,525	8.8	3,832	39.3	4,196	40.3	2,482	52.9

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 2,049百万円(△17.7%) 26年2月期第2四半期 2,489百万円(54.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年2月期第2四半期	54	28	54	17
26年2月期第2四半期	64	96	64	85

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	87,862		61,658		69.8	
26年2月期	86,208		60,406		69.9	

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 61,312百万円 26年2月期 60,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
26年2月期	円	銭	円	銭	円	銭
	—	25 00	—	25 00	50 00	
27年2月期	—	25 00				
27年2月期(予想)			—	25 00	50 00	

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日~平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	155,400	2.9	8,000	0.7	8,400	△3.8	4,700	△6.4	122.98	

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P.5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年2月期2Q	44,392,680株	26年2月期	44,392,680株
27年2月期2Q	6,174,540株	26年2月期	6,174,490株
27年2月期2Q	38,218,175株	26年2月期2Q	38,214,093株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法について

- ・四半期決算補足説明資料は、平成26年10月14日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等により緩やかな回復基調が続いているものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が長引くことが懸念される等、力強さを欠きました。

当外食産業におきましては、物価の上昇や夏の天候不順等の影響もあり個人消費が弱含み、加えて原材料価格の上昇や人手不足が大きな課題となる等、事業環境に厳しさが増してまいりました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き新規出店を推進すると共に、店舗のQ S C(品質、接客、清潔感)向上、商品力の強化、効果的な販売促進活動の展開に努めました。また、「ほっともっと事業」においてフランチャイズ展開を推進すると共に、「やよい軒事業」においても加盟店の募集を開始し、さらなる営業基盤の強化に向けて、活動いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、771億31百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は33億80百万円(前年同期比11.8%減)、経常利益は36億47百万円(前年同期比13.1%減)、四半期純利益は20億74百万円(前年同期比16.4%減)となりました。売上高につきましては、新規出店により店舗数が増加したことや既存店売上高が伸長したことが要因で、前年同期実績を上回りました。利益面につきましては、売上高の増加があったものの、広告宣伝費や店舗運営に係る人件費等の増加が要因で、前年同期実績を下回りました。

## [国内における店舗展開の状況]

	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第2四半期 連結累計期間末	改装・移転
ほっともっと	2,692店	51店	38店	2,705店	65店
やよい軒	247店	15店	2店	260店	6店
MKレストラン	32店	—	1店	31店	—
合計	2,971店	66店	41店	2,996店	71店

## [海外における店舗展開の状況]

	展開エリア	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第2四半期 連結累計期間末
ほっともっと	中国	5店	—	—	5店
	韓国	4店	1店	2店	3店
やよい軒	タイ	115店	10店	1店	124店
	シンガポール	4店	1店	—	5店
	オーストラリア	—	1店	—	1店
	台湾	—	1店	—	1店
合計	—	128店	14店	3店	139店

セグメントの業績は次のとおりであります。

## 【ほっともっと事業】

初めて生のまぐろを使用した海鮮メニュー「ねぎまぐろ丼」や、女子小学生を中心に人気のキャラクター「アイカツ!」とコラボレーションしたお弁当を発売し、お客様の来店を促進しました。おいしさだけでなく健康にもこだわった「金芽ごはん」を使用して、店内調理による手づくりの特長を活かした商品の提供に努め、競合店との差別化を図りました。

消費税率の引上げに際しましては、主要商品の税込み価格を据え置くことで商品価値を高め、お客様に安心してご購入いただけるよう努めました。

加えて、webを利用した宅配・受取予約・物販の新サービス「Netto Motto(ネットモット)」を全店で導入し、お客様に新たな「ほっともっと」の利用方法を提供することで、利便性の向上を図りました。

フランチャイズ展開につきましては、「ユニットFC制度」を利用して、引き続き新規オーナーの獲得及び既存オーナーの多店舗化に積極的に取り組んだ結果、加盟店は順調に増加しております。

これらにより、既存店売上高は、前年同期比101.4%となりました。

以上の結果、売上高は、618億32百万円(前年同期比0.03%減)、営業利益は25億27百万円(前年同期比20.2%減)となりました。売上高につきましては、店舗数の増加や既存店売上高の伸長という増加要因があったものの、直営店の加盟店への移管が進んだことにより、前年同期実績を若干下回りました。営業利益につきましては、広告宣伝費や店舗運営に係る人件費等の増加が要因で、前年同期実績を下回りました。

#### 【やよい軒事業】

素材や手作り感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、「さわらの塩焼定食」「冷汁とり南蛮の定食」等の季節感や郷土性を取り入れたメニューを発売し、他店との差別化を図りました。また、お客様に快適にご利用いただけるよう、店舗のQSCの向上に努めると共に、テレビCMの放映やディスカウントキャンペーンを効果的に実施し、お客様の来店促進を図りました。

また、やよい軒事業において、本格的にフランチャイズ展開を推進するため、加盟者の募集を開始しました。

これらにより、既存店売上高は、前年同期比104.7%と好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は136億68百万円(前年同期比14.9%増)、営業利益は9億38百万円(前年同期比27.1%増)となりました。

#### 【MKレストラン事業】

豊富な具材と個性豊かな3種のスープが選べる「MK鍋」に、本格飲茶や一品料理も取り揃え、より多くのお客様にお楽しみいただけるメニューに一新いたしました。また、店舗のQSCの向上に努めると共に、テレビCMを放映する等お客様の来店促進を図りましたが、既存店売上高は、前年同期比95.7%にとどまりました。

以上の結果、売上高は16億29百万円(前年同期比8.2%減)、営業利益は11百万円(前年同期比32.6%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ16億53百万円増加し、878億62百万円となりました。内訳は、流動資産が15億59百万円増加したこと、固定資産が94百万円増加したこととあります。流動資産の増加は、現金及び預金が8億88百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が5億68百万円増加したこと、商品及び製品が18億65百万円増加したことなどによるものです。また、固定資産の増加は、有形固定資産が11億33百万円増加したこと、投資その他の資産が10億94百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ4億2百万円増加し、262億3百万円となりました。内訳は、流動負債が15億57百万円増加したこと、固定負債が11億55百万円減少したこととあります。流動負債の増加は、支払手形及び買掛金が16億73百万円増加したこと、未払法人税等が4億91百万円減少したことなどによるものです。また、固定負債の減少は、訴訟損失引当金が13億39百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ12億51百万円増加し、616億58百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益により20億74百万円増加したこと、剰余金の配当により9億55百万円減少したことなどによるものです。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1億11百万円増加し、152億28百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ2億24百万円減少し、45億91百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益33億63百万円、減価償却費22億88百万円、たな卸資産の増加額18億54百万円、仕入債務の増加額16億64百万円、法人税等の支払額17億91百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ19億50百万円減少し、37億25百万円となりました。主な内訳は、定期預金の預入による支出40億円及び払戻による収入50億円、有形固定資産の取得による支出41億38百万円、関係会社株式の取得による支出2億58百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ0百万円増加し、9億64百万円となりました。主な内訳は、配当金の支払額9億56百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想につきましては、平成26年4月11日に公表しました数値から修正しております。詳細は、本日開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において主要な関係会社の異動はありません。なお、第1四半期連結会計期間において、北京好麦道餐飲管理有限公司(中国)は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,138	23,250
受取手形及び売掛金	2,577	3,146
商品及び製品	4,959	6,824
原材料及び貯蔵品	38	48
その他	2,958	2,948
貸倒引当金	△212	△198
流動資産合計	34,460	36,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,320	25,049
その他(純額)	9,657	10,061
有形固定資産合計	33,978	35,111
無形固定資産	372	428
投資その他の資産		
その他	17,413	16,318
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	17,397	16,303
固定資産合計	51,747	51,842
資産合計	86,208	87,862
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,059	6,732
未払法人税等	1,898	1,407
賞与引当金	312	422
ポイント引当金	96	96
株主優待引当金	93	31
資産除去債務	12	18
その他	8,413	8,734
流動負債合計	15,886	17,443
固定負債		
訴訟損失引当金	1,339	-
資産除去債務	4,129	4,201
その他	4,445	4,558
固定負債合計	9,915	8,760
負債合計	25,801	26,203



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,916	4,916
利益剰余金	63,875	64,951
自己株式	△12,035	△12,035
株主資本合計	60,218	61,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	1
為替換算調整勘定	-	16
その他の包括利益累計額合計	△0	18
新株予約権	188	235
少数株主持分	-	110
純資産合計	60,406	61,658
負債純資産合計	86,208	87,862

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	75,525	77,131
売上原価	34,664	35,768
売上総利益	40,861	41,362
販売費及び一般管理費	37,029	37,982
営業利益	3,832	3,380
営業外収益		
受取利息	27	32
受取配当金	1	7
為替差益	217	78
固定資産賃貸料	73	78
持分法による投資利益	9	8
その他	63	98
営業外収益合計	393	304
営業外費用		
固定資産賃貸費用	15	19
その他	13	17
営業外費用合計	28	37
経常利益	4,196	3,647
特別利益		
固定資産売却益	1	4
特別利益合計	1	4
特別損失		
固定資産処分損	103	161
減損損失	54	123
その他	6	3
特別損失合計	164	288
税金等調整前四半期純利益	4,033	3,363
法人税等	1,551	1,298
少数株主損益調整前四半期純利益	2,482	2,064
少数株主損失(△)	-	△10
四半期純利益	2,482	2,074

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,482	2,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	1
為替換算調整勘定	-	△16
その他の包括利益合計	7	△14
四半期包括利益	2,489	2,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,489	2,067
少数株主に係る四半期包括利益	-	△17

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,033	3,363
減価償却費	2,309	2,288
減損損失	54	123
株式報酬費用	51	46
持分法による投資損益(△は益)	△9	△8
有形及び無形固定資産除却損	103	161
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△42	△13
賞与引当金の増減額(△は減少)	216	106
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1	0
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△25	△61
受取利息及び受取配当金	△29	△39
為替差損益(△は益)	△207	△70
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△1	△4
売上債権の増減額(△は増加)	△261	△568
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,337	△1,854
仕入債務の増減額(△は減少)	1,674	1,664
その他	△195	1,208
小計	6,331	6,339
利息及び配当金の受取額	37	43
利息の支払額	-	△0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,553	△1,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,815	4,591
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△7,983	△4,000
定期預金の払戻による収入	6,000	5,000
有形固定資産の取得による支出	△2,960	△4,138
有形固定資産の除却による支出	△41	△107
有形固定資産の売却による収入	10	18
無形固定資産の取得による支出	△42	△69
貸付けによる支出	△126	△158
貸付金の回収による収入	163	139
差入保証金の差入による支出	△137	△220
差入保証金の回収による収入	98	112
関係会社株式の取得による支出	-	△258
関係会社出資金の払込による支出	△665	-
その他	8	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,675	△3,725
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△955	△956
その他	△8	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△963	△964
現金及び現金同等物に係る換算差額	207	62
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,616	△36
現金及び現金同等物の期首残高	14,351	15,117
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	147
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,735	15,228

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ほっともつと 事業	やよい軒 事業	MKレスト ラン事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	61,851	11,898	1,775	75,525	—	75,525
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	61,851	11,898	1,775	75,525	—	75,525
セグメント利益	3,167	738	16	3,922	△90	3,832

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ほっともつと 事業	やよい軒 事業	MKレスト ラン事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	61,832	13,668	1,629	77,131	—	77,131
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	61,832	13,668	1,629	77,131	—	77,131
セグメント利益	2,527	938	11	3,476	△96	3,380

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「しゃぶしゃぶダイニングMK事業」から「MKレストラン事業」に変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。